2020 年度一級建築士設計製図試験

「高齢者介護施設」パーツ集

20200909 版

製図試験.com

製図試験.com

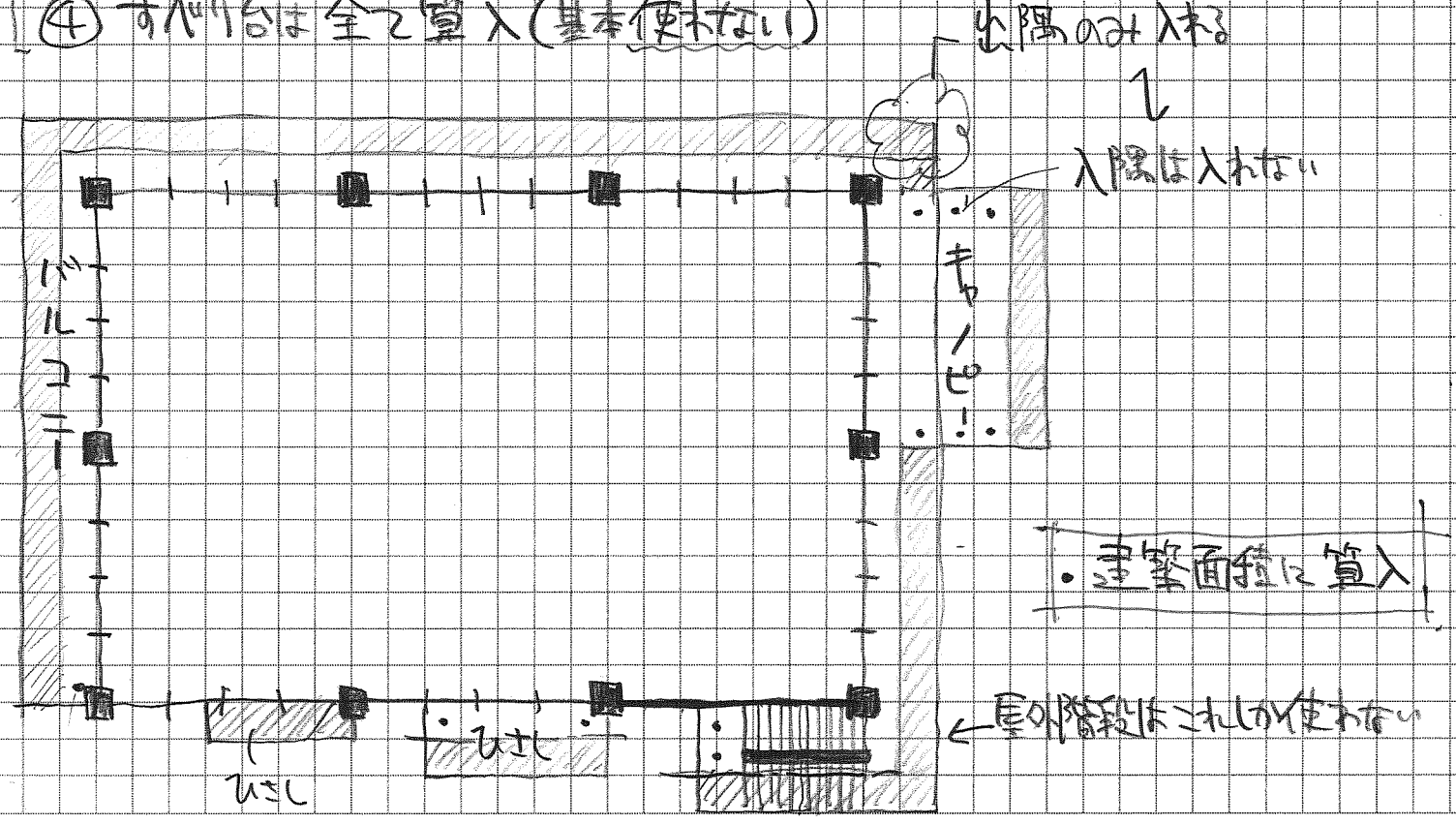
建築面積の考え方A案（これまでの製図試験的な考え方）

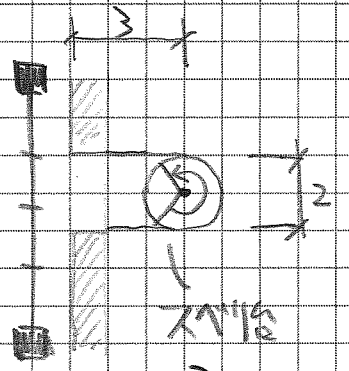
① 建築面積は垂直に光をあてて影になる部分

② ただし 庇，バルコニー等（外側に柱のない屋外階段含む）は
水平後退距離として1mバックする。

③ 計算しにくい屋外階段は使わない。
もしくは安全側で計算。

④ すべり台は全て算入（基本使わない）



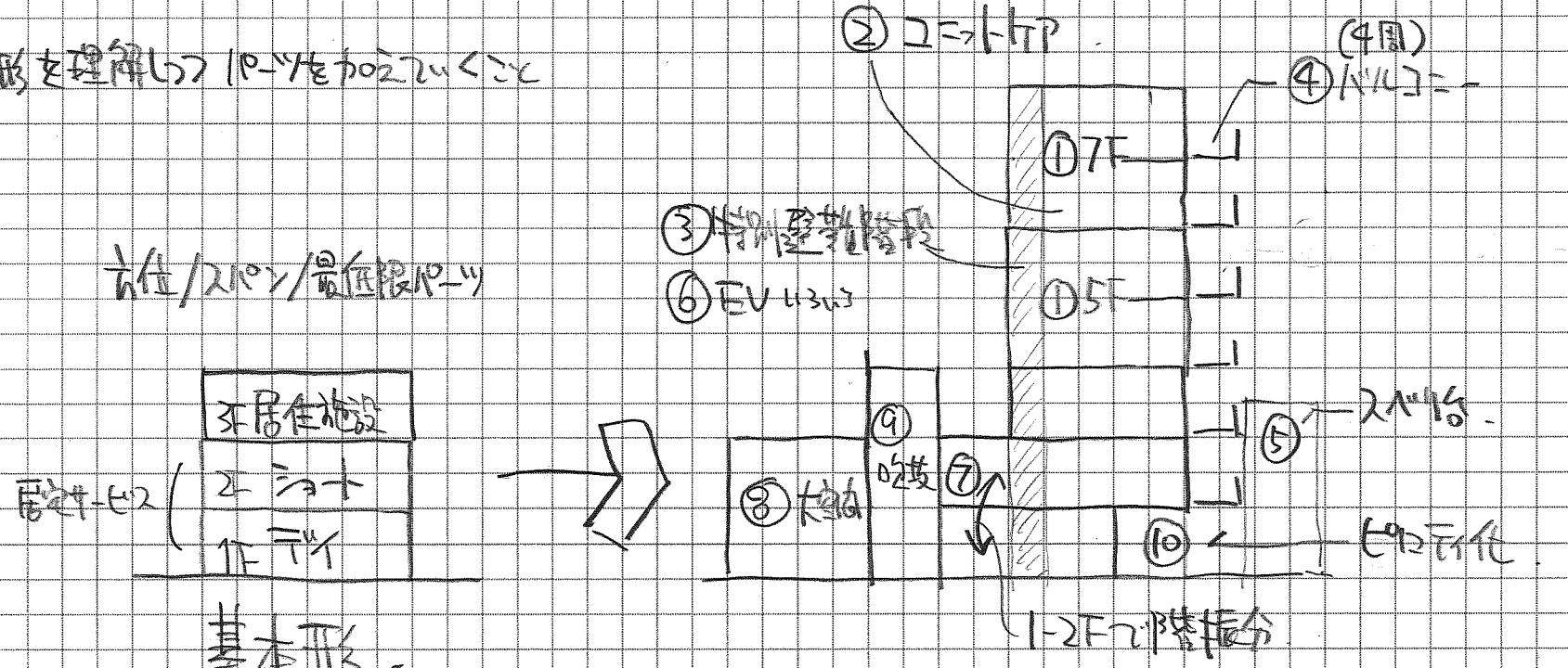


すべり台
3×2
+1×1×3.14÷2
=7.57㎡

0819版

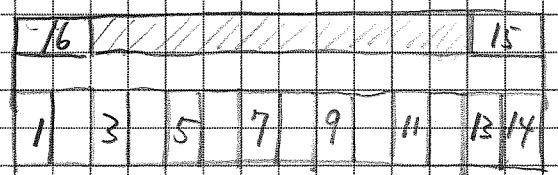
アッセンブリーパーツ10点について

基本形を理解しつつパーツを加えていくこと

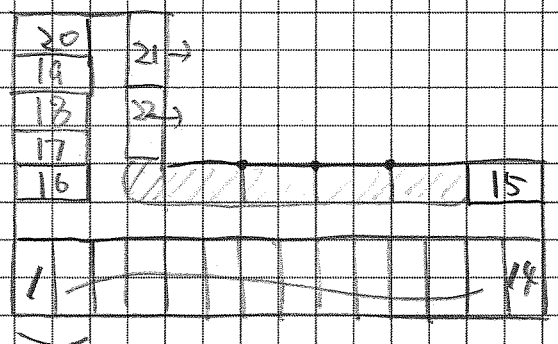


	可能性		
① 3F建基本 → 5F/7F可能性アリ。	◎	⑥ EVいろいろ	◎
② 通常型ではなくコニットTP型	◎	⑦ 1-2Fの階段分	◎
③ 特養による特別整備階段	△×	⑧ 大空間vs基準F	◎
④ (4周)バルコニー → 消防によるもの	△×	⑨ 多様な改装	◎
⑤ スベリ台 → 〃	△×	⑩ 車寄せのビロティ化/オープン化	◎

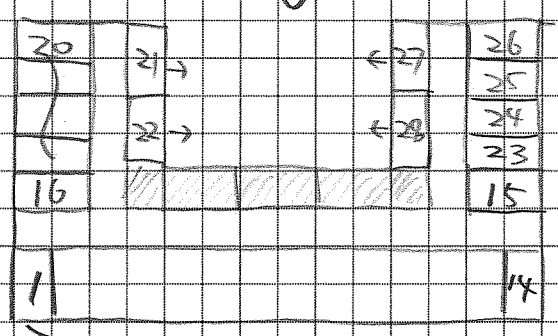
① 従来型 I－Box－L－凹－Tc.（片側居室なしパターン）



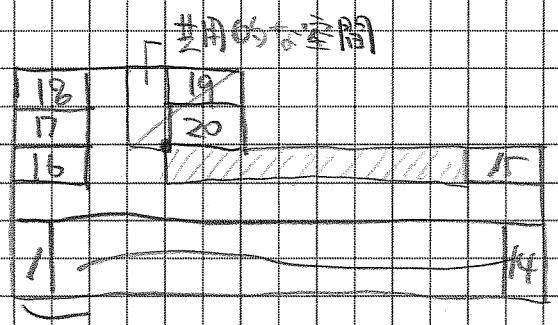
6m 7スパン 16間口がMax.



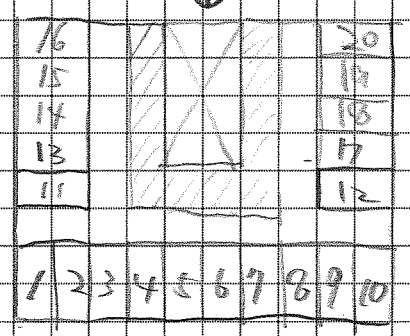
6m 7スパン×4スパンで22間口がMax



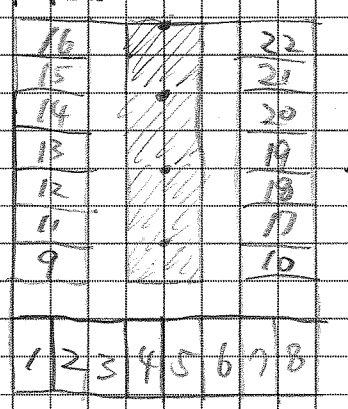
6m 7×4スパンで28間口Max.



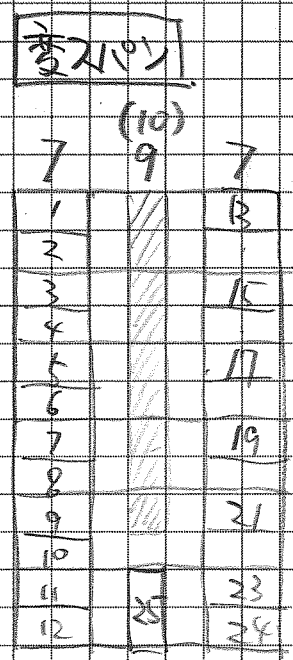
6m 7×3スパンで20間口.



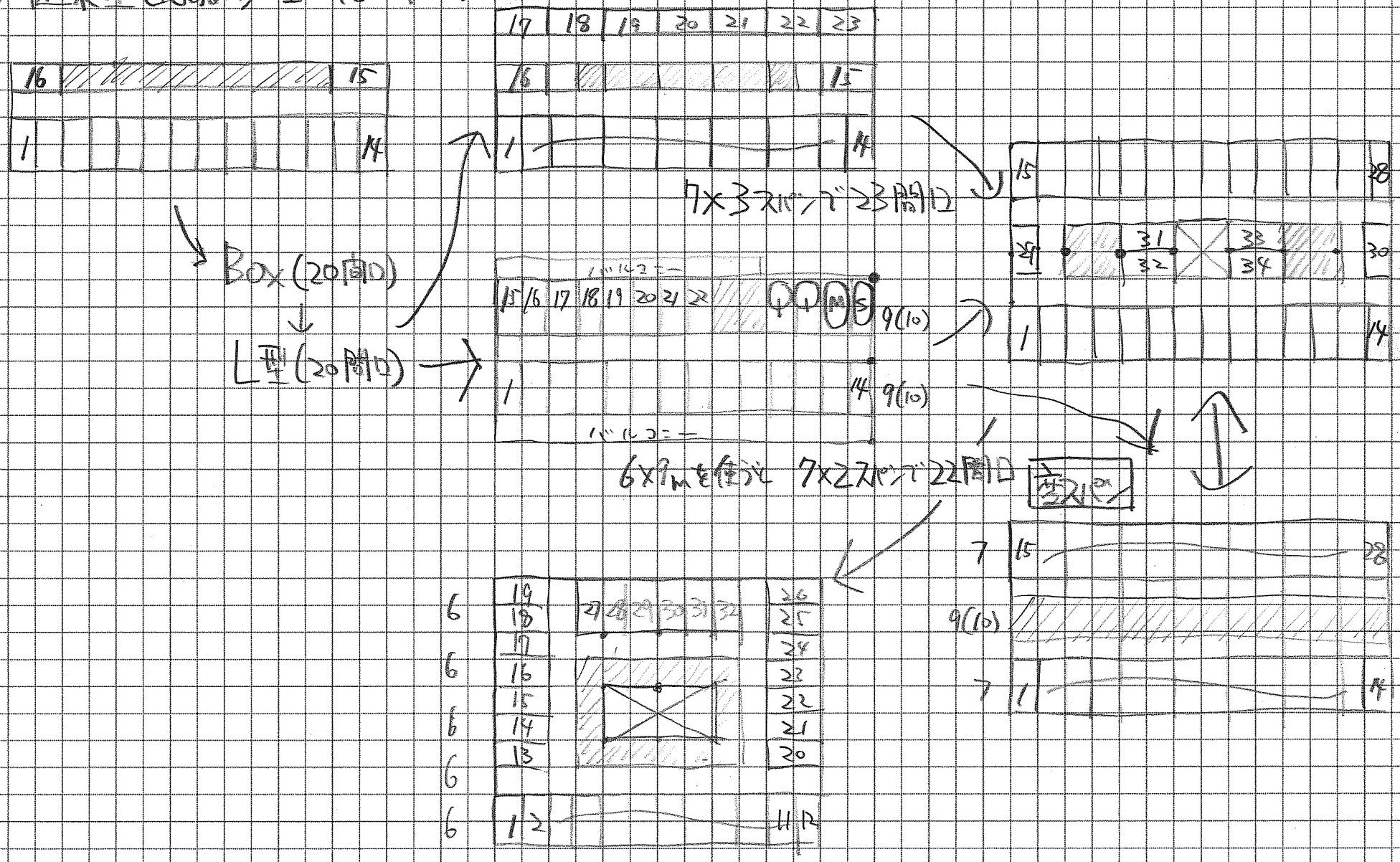
5×4スパン 20



4×5スパン 22

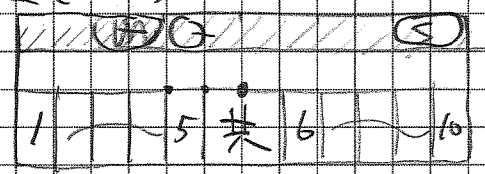


① 住宅型(北面道路) I-Tc-中3階下-□の家

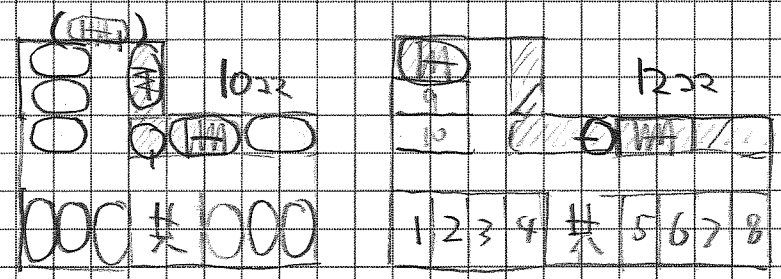


② ユニットTP(10戸ベース) ― 1ユニットタイプ

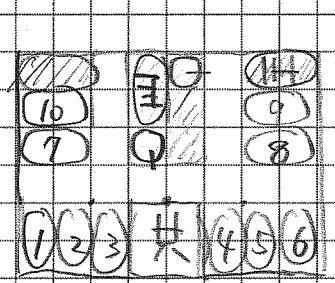
I型(6×2)



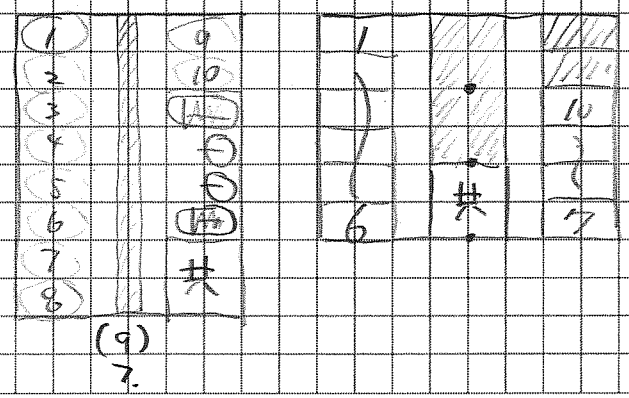
L



凸

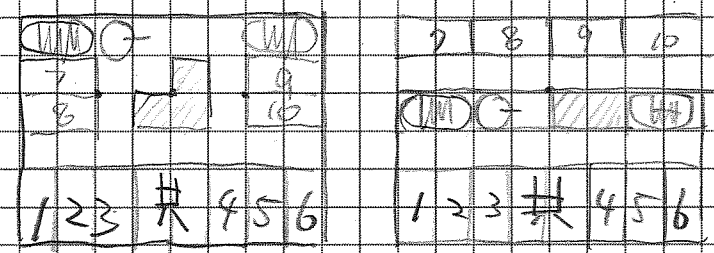


Tc



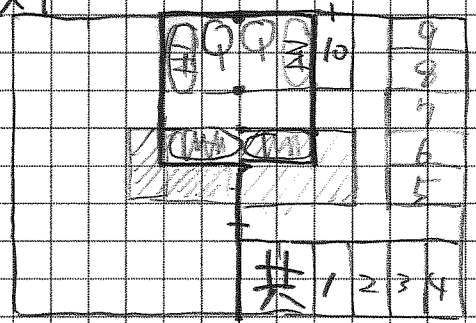
数式の妥当性の確認/スパン 7×7
6×7
7×6 とありますが

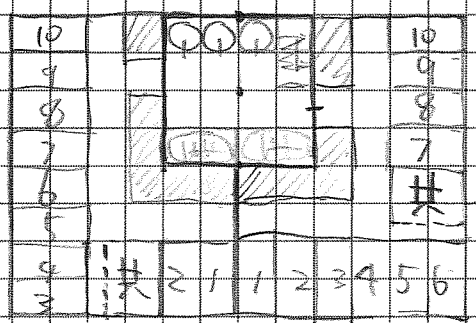
1ユニット/Tは これでほぼ全てだと思います。



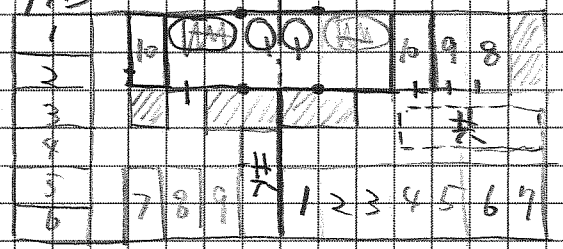
② 2ユニットTP(2ユニット)

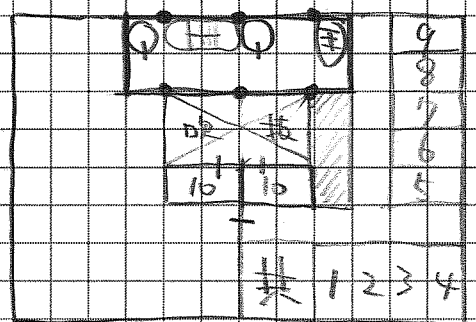
6×4

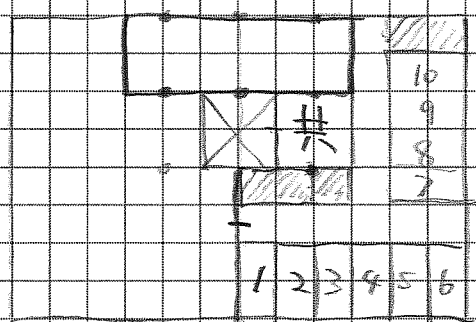




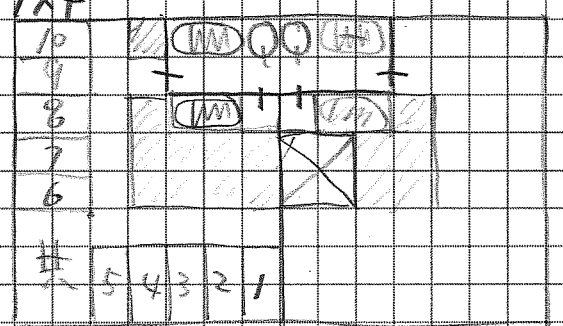
7×3

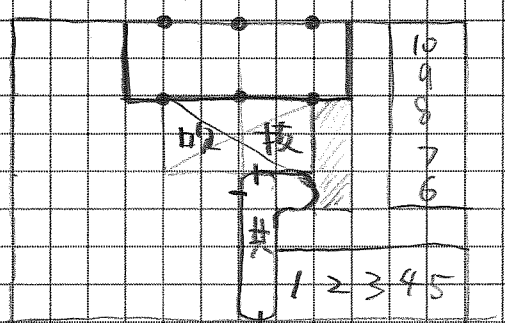




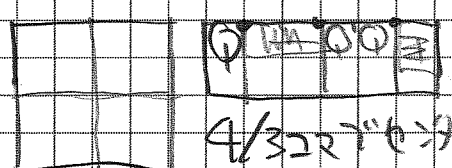


7×4





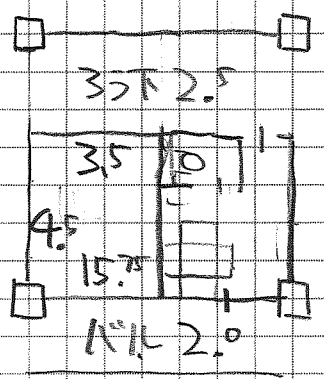
コツは ① シンメトリー

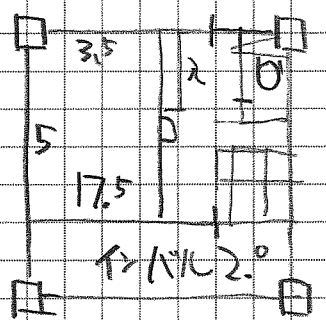
② 

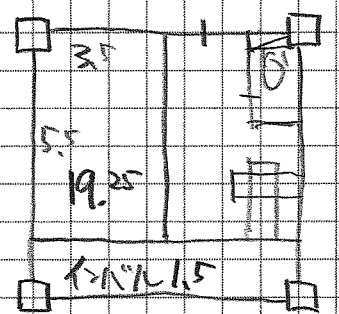
4/3コマでセンターコア

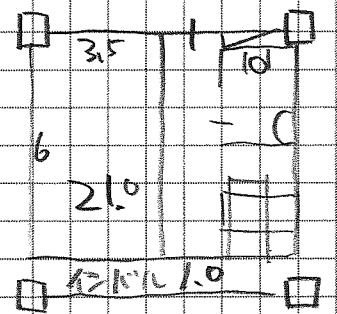
③ 0次元の利用

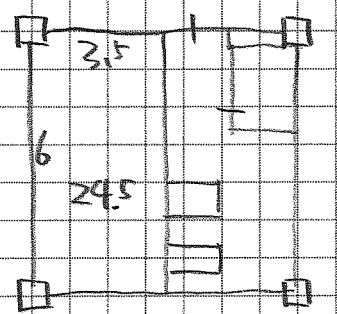
②居室 (7×7) (7×6) (6×7)



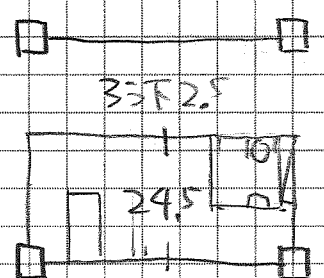


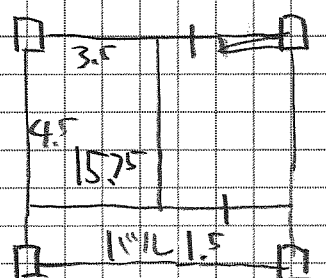


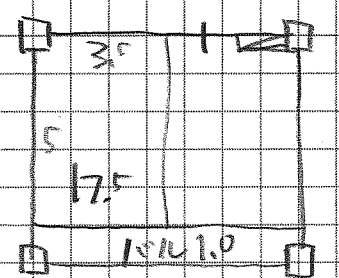


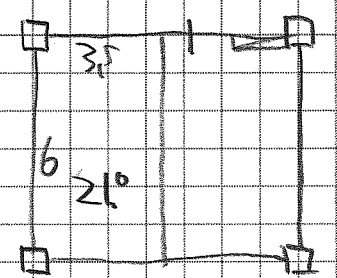


2人室

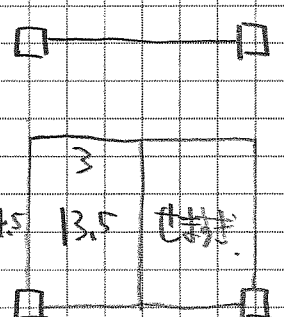


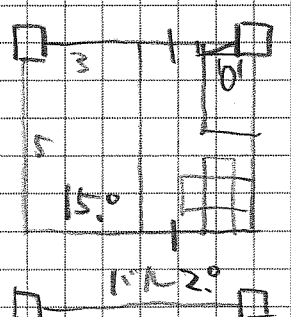


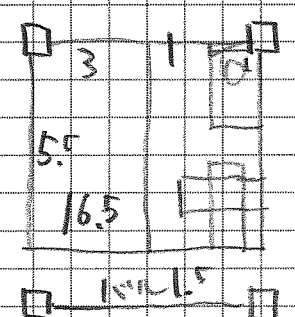


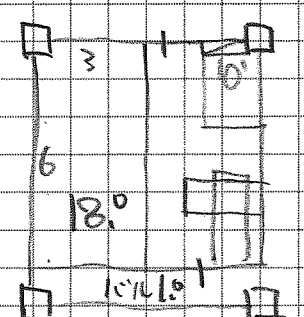


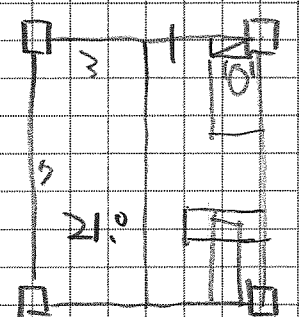
2人室



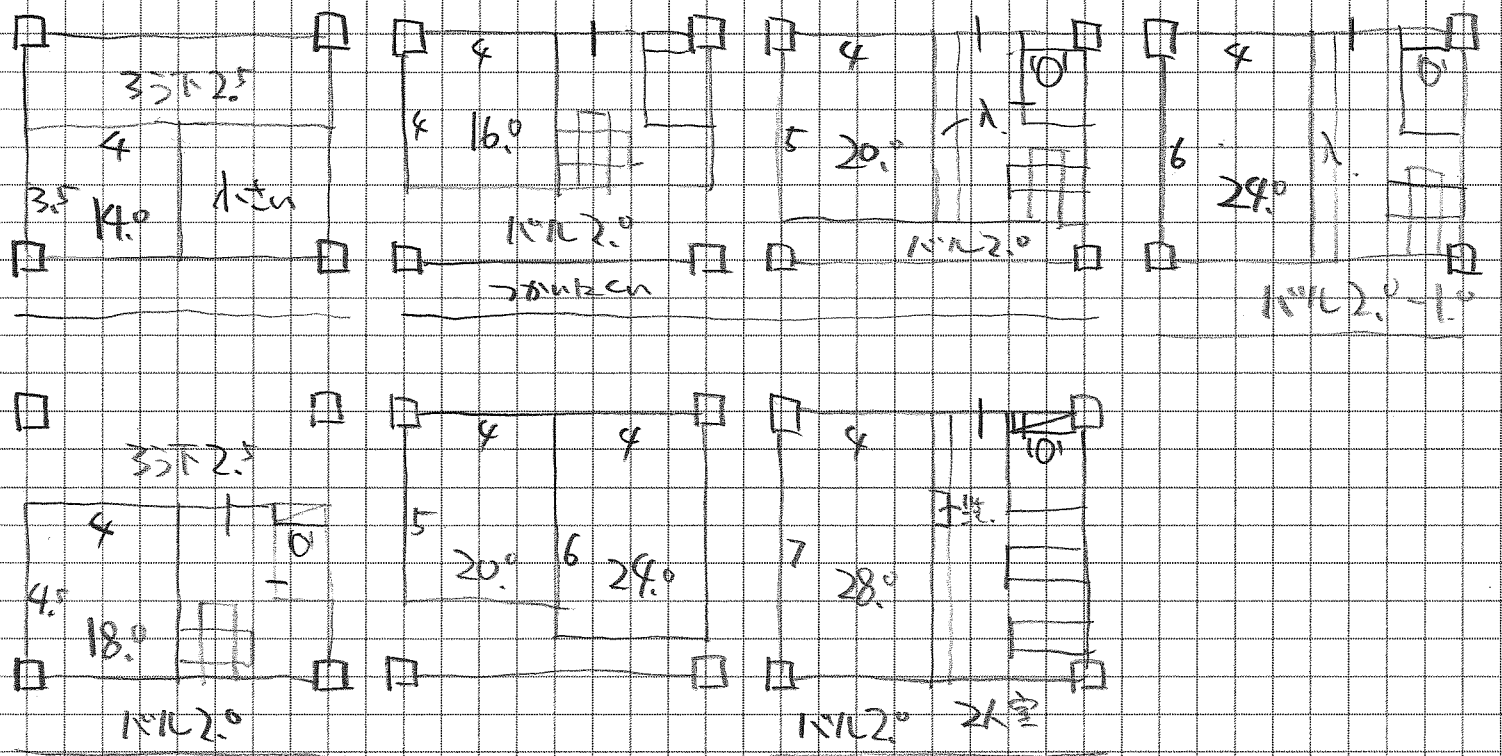




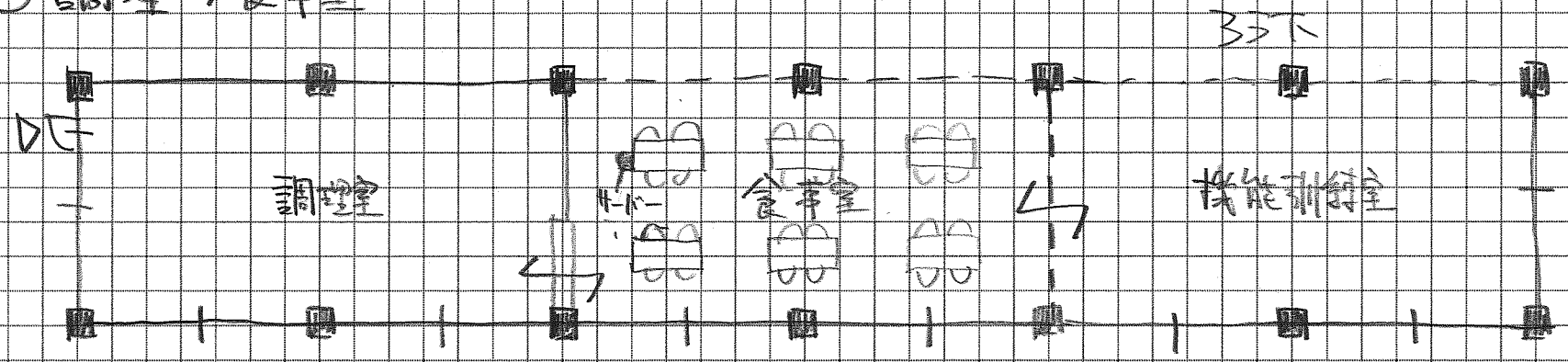




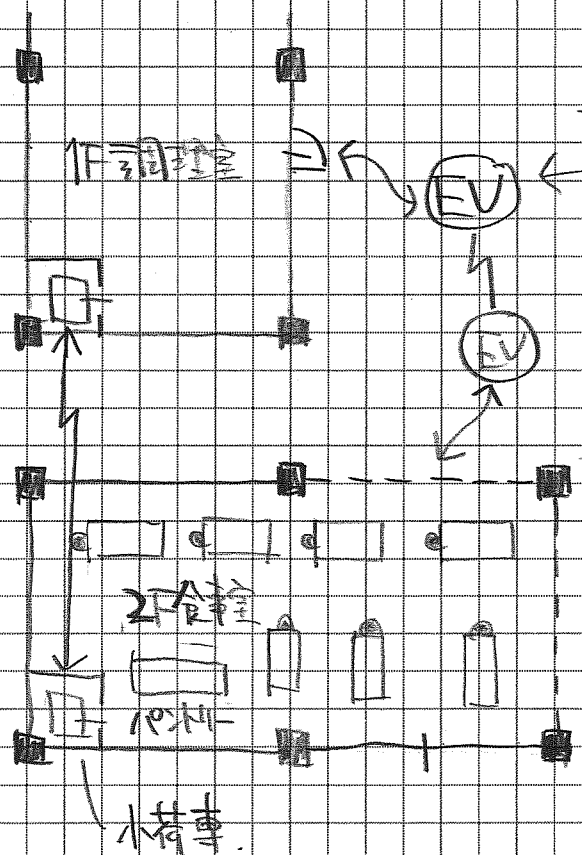
②屋室(8×6)(8×7)


3つドア2.5
4
3.5
14.0
小さい
4
4
16.0
バルコ2.0
つかいたい
4
5
20.0
バルコ2.0
4
6
24.0
バルコ2.0ーブ
3つドア2.5
4
4.5
18.0
バルコ2.0
4
4
5
20.0
6
24.0
4
7
28.0
バルコ2.0
2人室

② 調理と食事室



4㎡/人　4人掛6テーブル=24人分.



運搬は食事による。

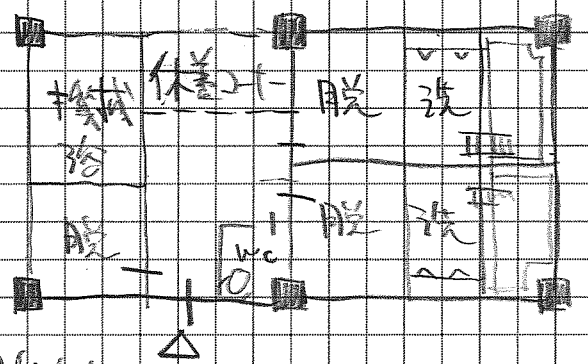
小荷事→10人分まで

BF.EV→24人分可

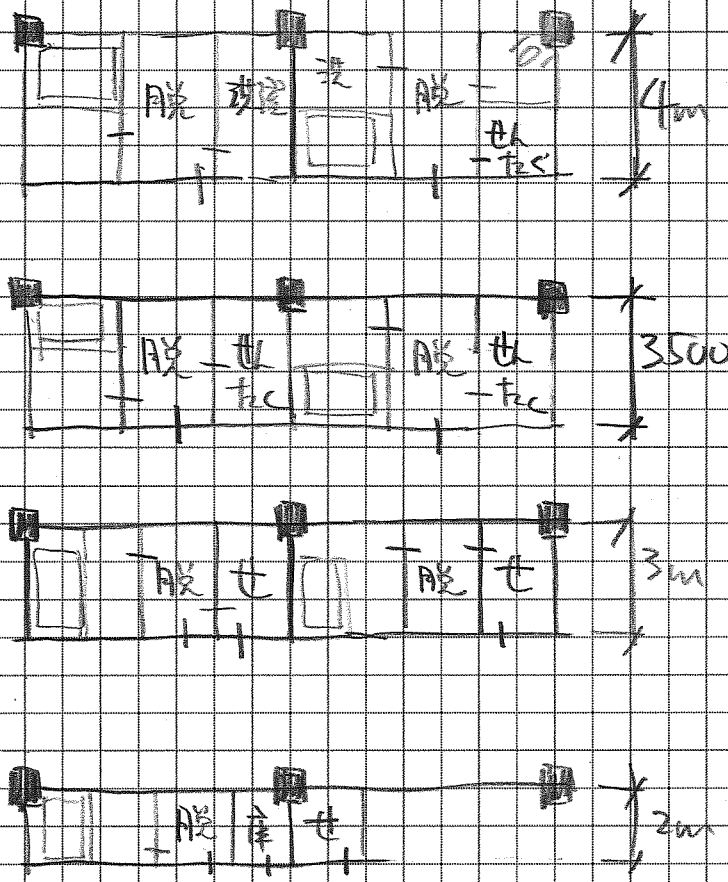
調理室＝食事室
同じくらいの面積で!

③ 浴室

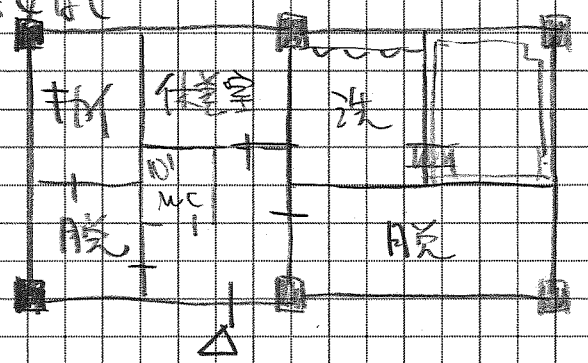
集団浴男女別型

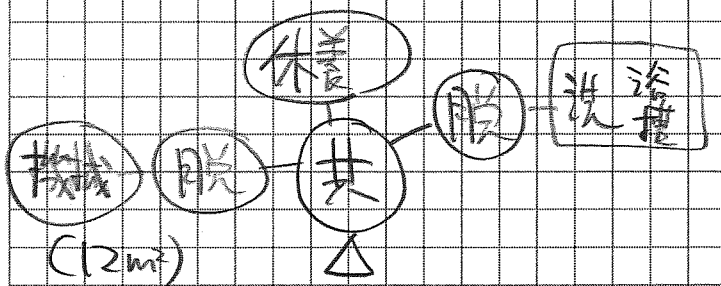


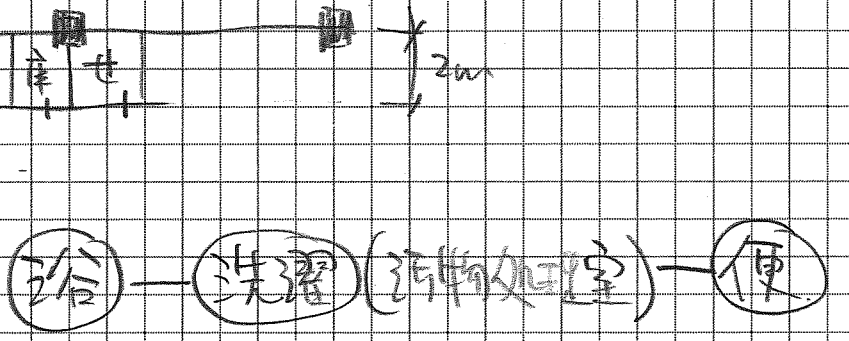
個室浴



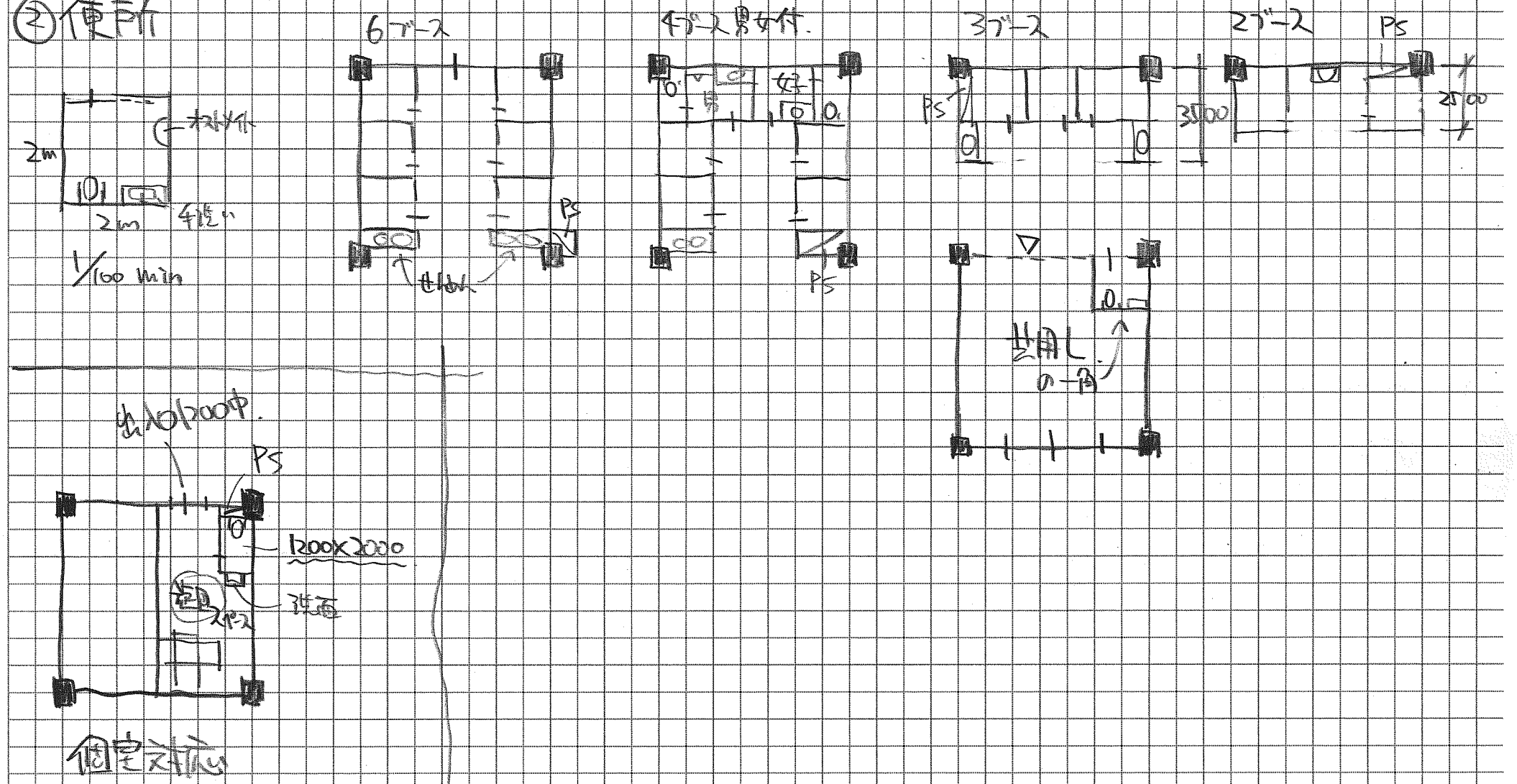
男女なし







② 便所


2m
2m
手洗い
1/100 min
6ブース
PS
4ブース男女付.
女子
男子
PS
3ブース
PS
3500
2ブース
PS
2500
共用L
の一角
出入口1200中.
PS
1200×2000
洗面
共用スペース
個室対応

③コアの考え方

⑥

利用者用
- ① 寝台用(必須)
- ② BFでもう1台ほしいところ
- ②' サービスEV

管理者用
- ③ 食事/サービス用.(カート用)
- ④ 汚物処理用.(カート用)

→ ここから考える全パターンをつくる!

階段
- ⑤ 利用者用BF (7×3.5) トワレの可能性
- ⑥ 管理サービス用 (5×3) トワレの可能性
- (⑦ 屋外避難階段(つかいたくないかも) → 原則使わない方向で。

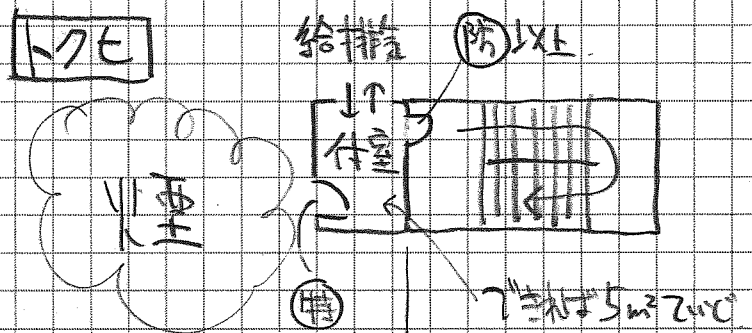
・パターンA. コンセン型	・パターンB 理想型	・パターンC ハイブリッド型
M ①+⑤	M ①②+⑤	M1 ①+⑤
S ③+⑥	S ④+⑥	M2 ②+⑤'
(+④)		S ⑥

0819版

③ 特養及び介護付有料老人ホーム(特定施設)については
3F建以上にする場合
Ⓐ 特別避難階段(トクヒ)2以上、もしくは
Ⓑ 〃 1＋バルコニー＋屋外避難階段が必要

それ以外の介護施設については
避難階段とします。
↖ 階段にシャッターは使わない。

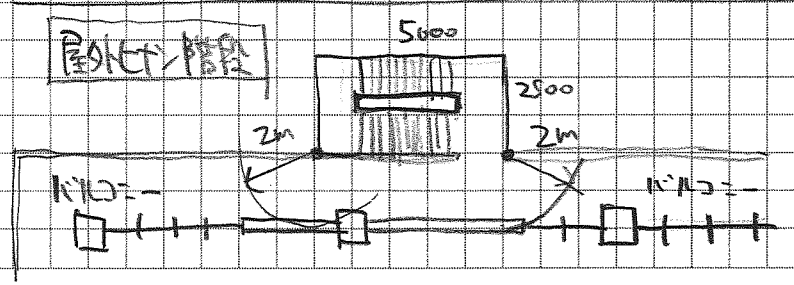
トクヒ

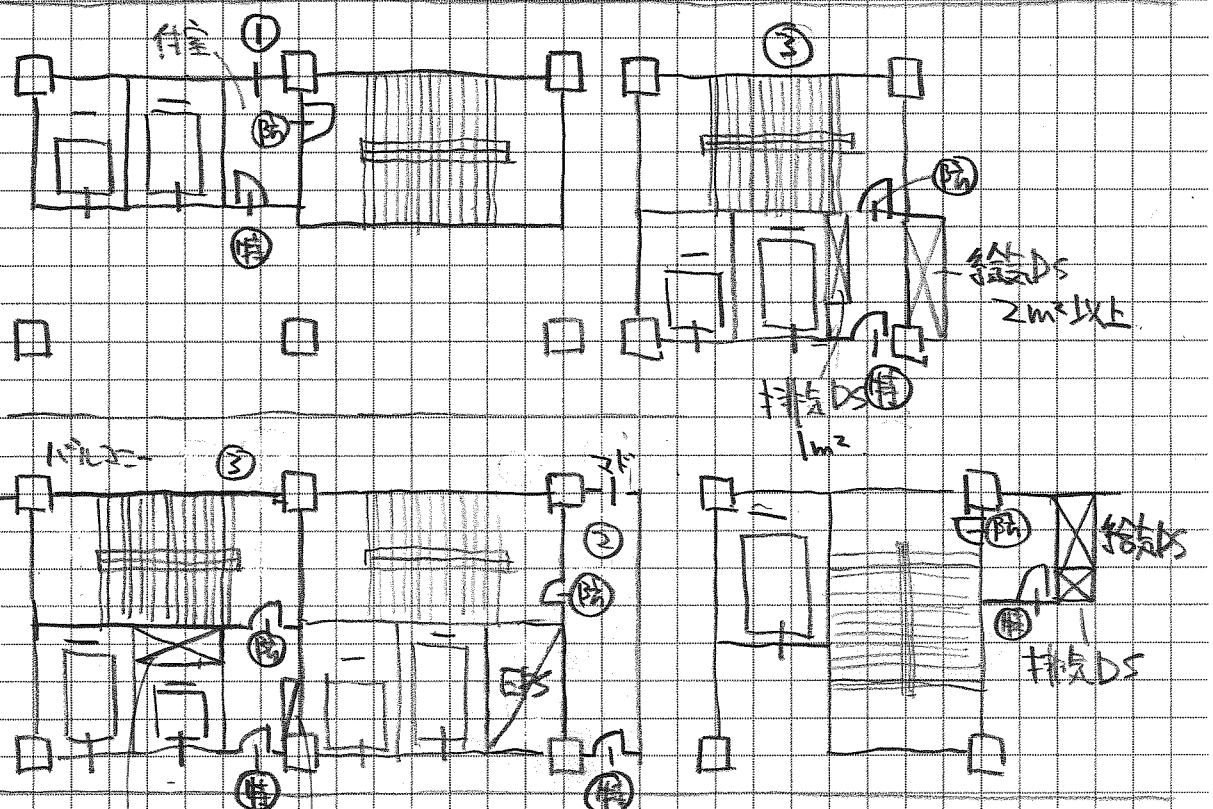


付室で煙をカット! ←→ それからヒナン

↓

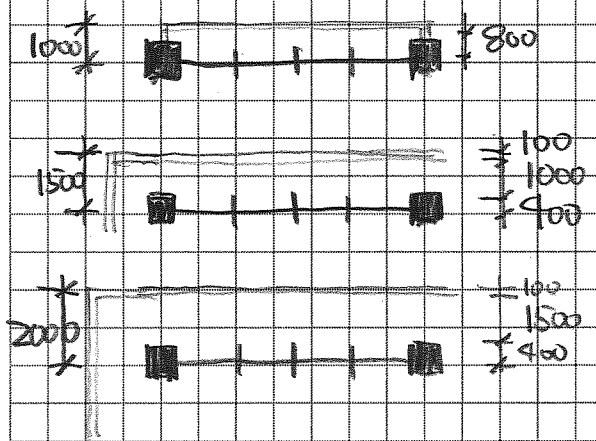
① 自然給排気 マド
② ~~バルコニー経由 バルコニー~~ ― 延焼のおそれは不可。
③ 機械排煙 1m²
/自然給気 2m²





0819版

④バルコニー

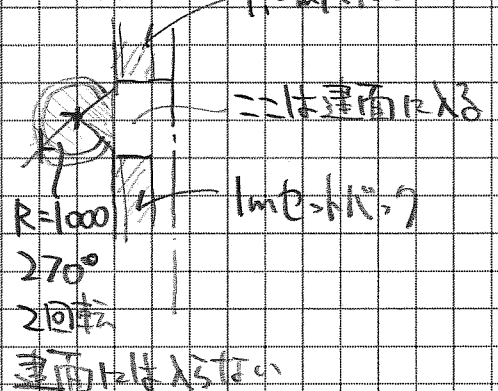


有効1000のバルコニー

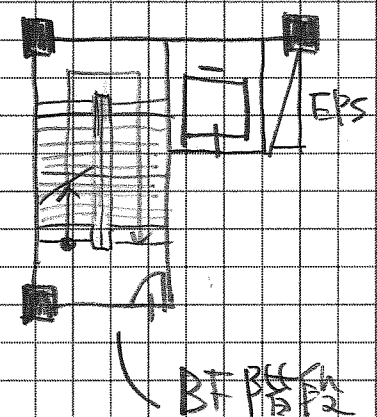
有効1500のバルコニー

バルコニーで横移動可.

⑤スベリ台



⑥EV/コア

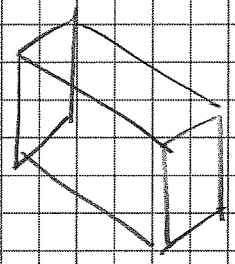


BF EV 1500×1600
(シャフト 2500×2500以上)
寝台BF EV 2500×1600
(シャフト 3500×2500以上)

BF階段 7×3.5 踏面300
6×4.5 蹴上160
26段 (4160)
22段 (3520)

避難階段 5×3 踏面250
蹴上200
20段(4000)
18段(3500)

⑦ 1-2F 振分け

車椅子が小さい →  建物が小さい → 車椅子オープン

↓

建物が大きい → 車椅子ピットの可能性

2Fパンパン 1Fスカスカ → 設備もピットで埋められる → OK

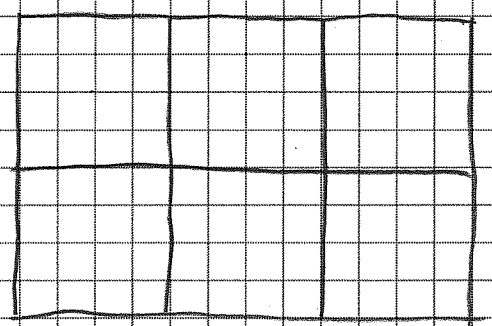
↓

1Fパンパン 2Fスカスカ → ボリューム算定スっぽくなる → NG

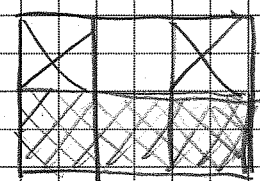
↓

本来は2Fから詰めていく2ボーンへ!

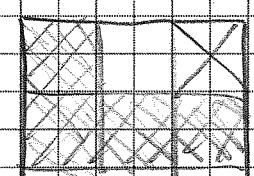
⑧大空間と基準階



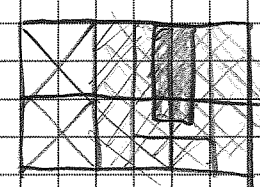
ざっくりプラン6分割で考えてみよう!



I型



L型



Tc型

こんな平面性

■大空間(柱なし)の上に5Fの基準階は載せない!

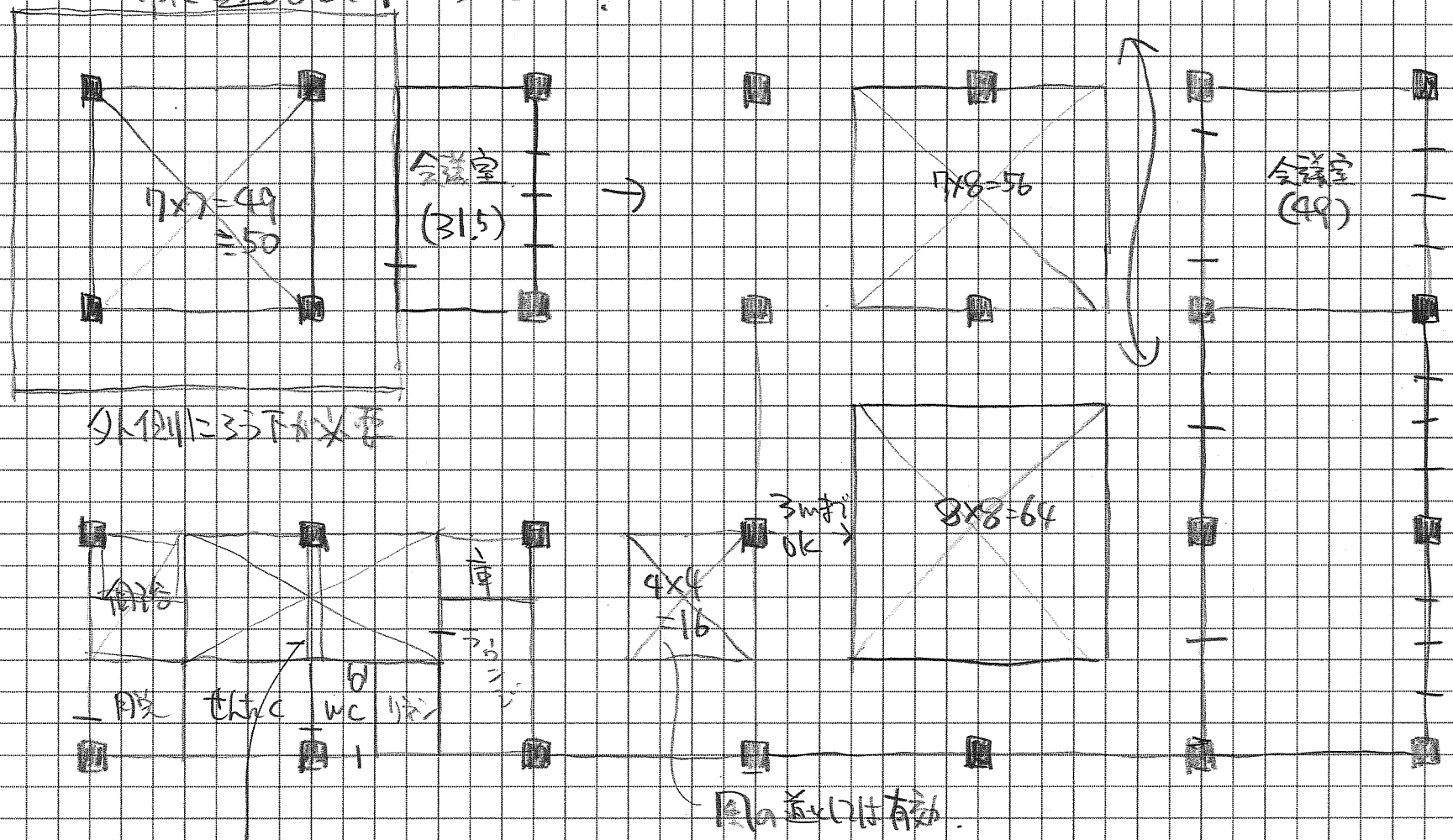
↓

やむを得ないケース →
- 基準階をかえる
- PC梁で基準階構成
- 大空間に柱を立てる

→ そのためにも上記のように様々な基準階パターンをES900で準備しておくこと!

⑨中庭（吸抜）

―― 常に通路とセットで考えること！



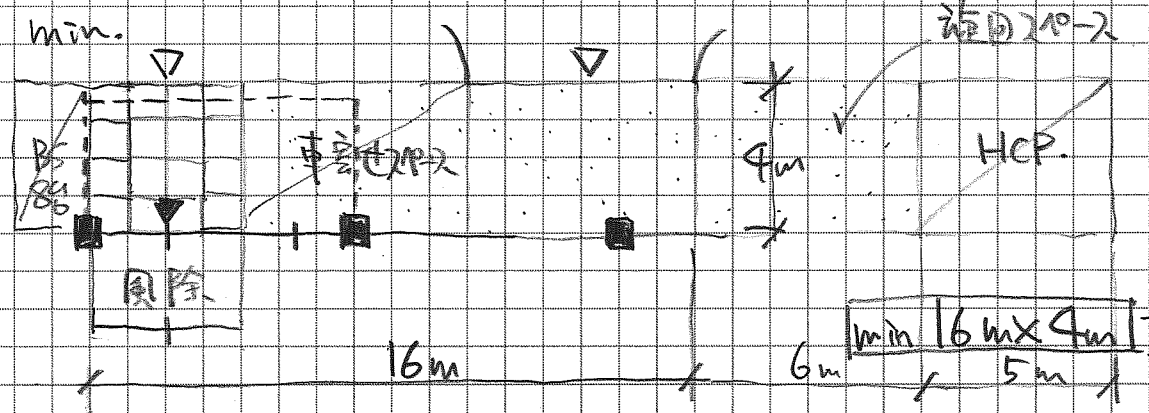
⑩ 車寄せ その1（1入口）

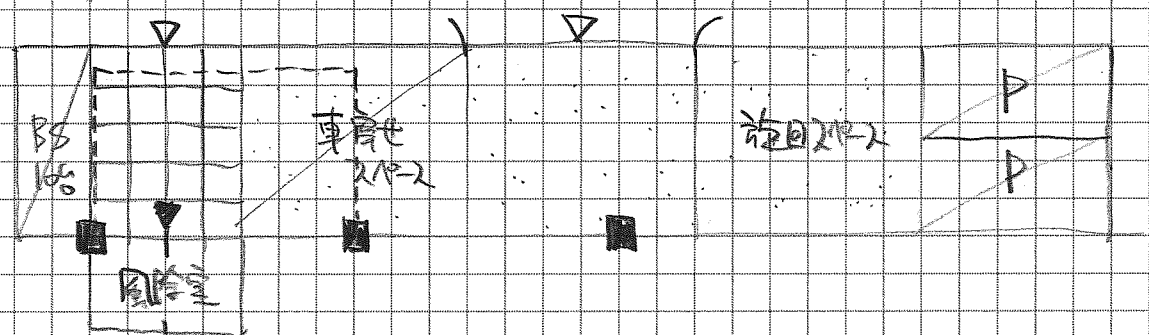
登場パーツ　　アフォーダンス

車寄せスペース
歩道切り下げ
歩行者アプローチ
駐車スペース
駐輪スペース（BS）

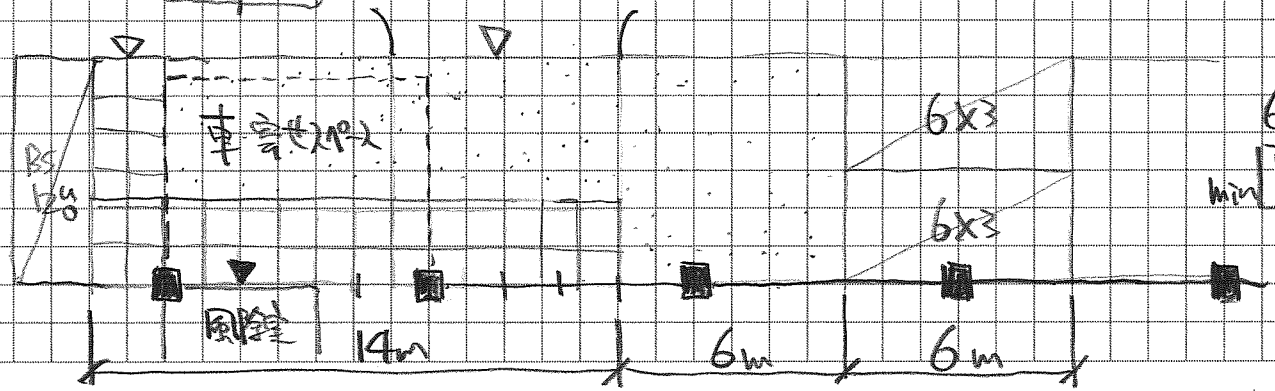
車寄せ > 歩行者 > HCP > 一般P > 送迎車P > SP

車寄せ外でも可



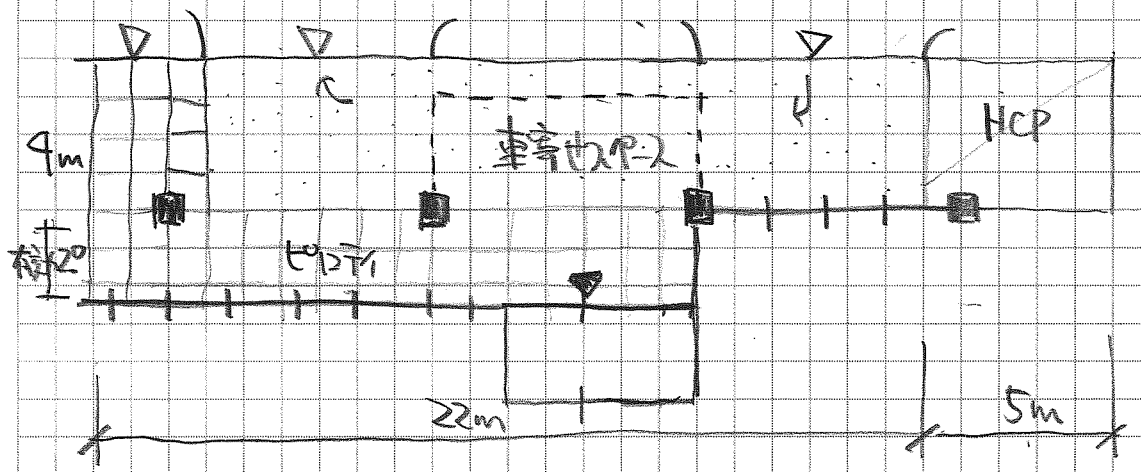


P2台以外かれなし

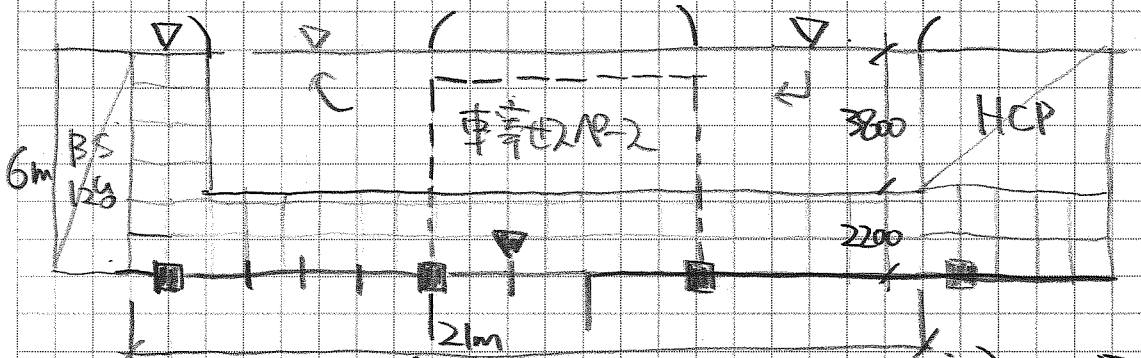


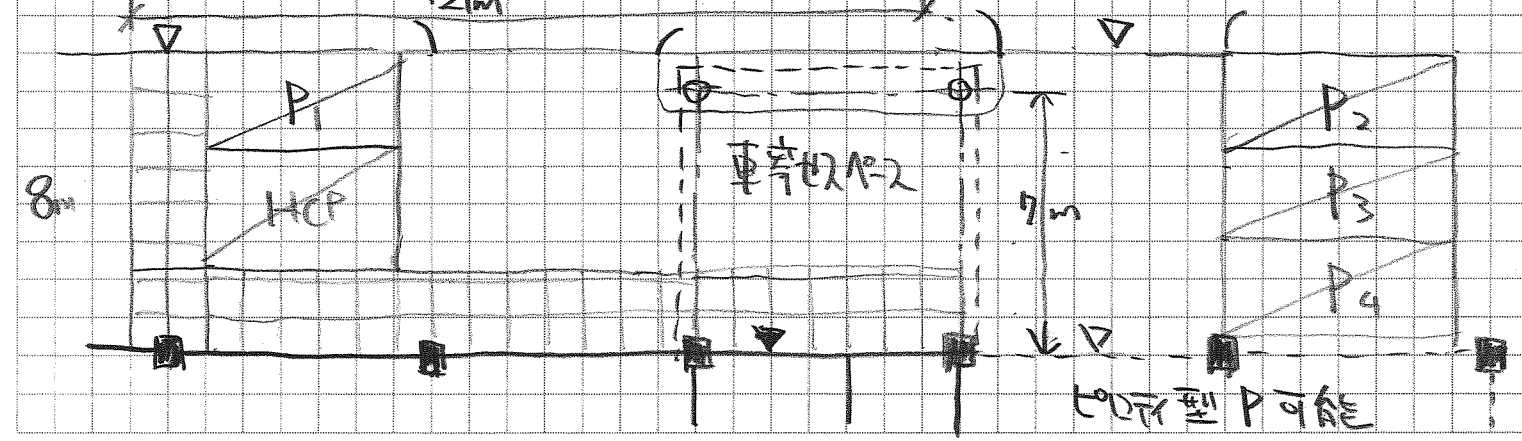
6mだと
min 14m×6m

⑩ 車寄せ その2 (in/out)

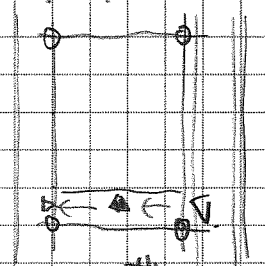


5m×

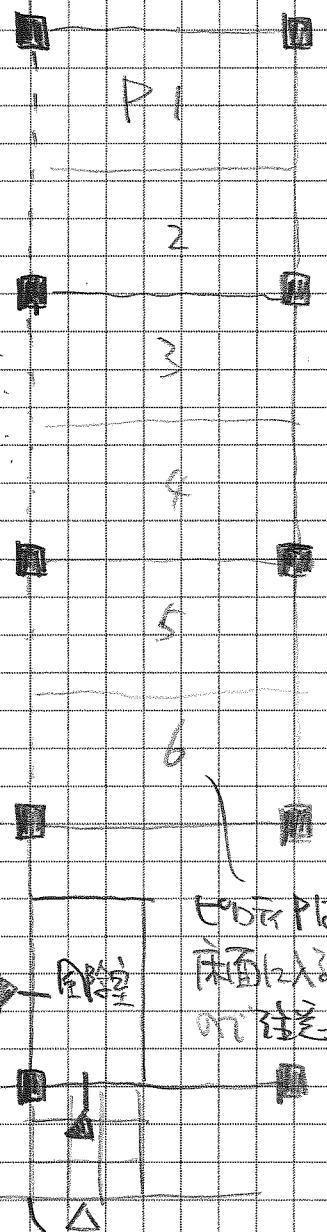


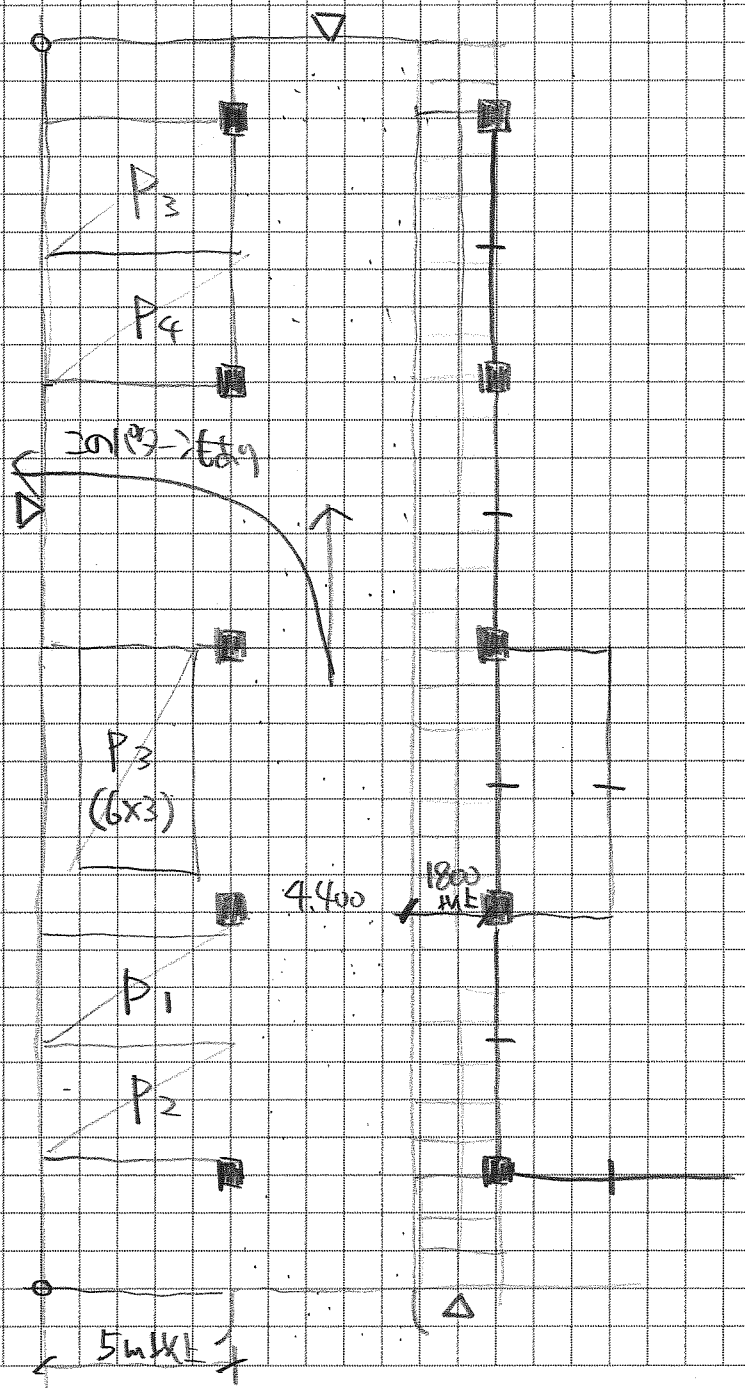


⑩ 車寄せ 3の3 (Thm) かいつうにぬける

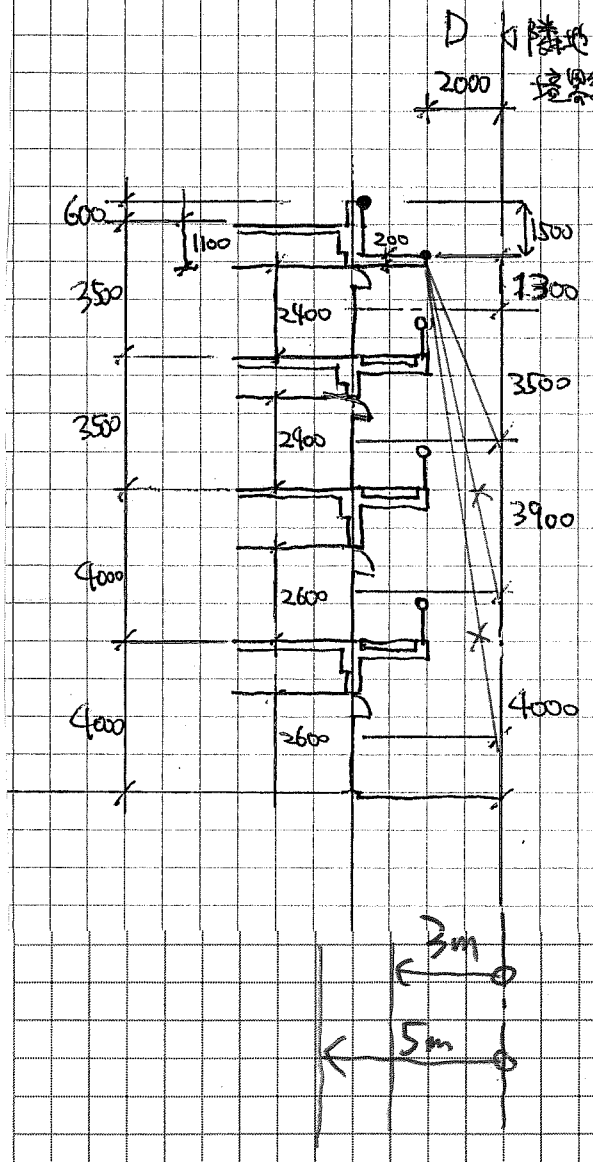


こういう壁がよくつかわれる





D/H×6−1.4（住居系）

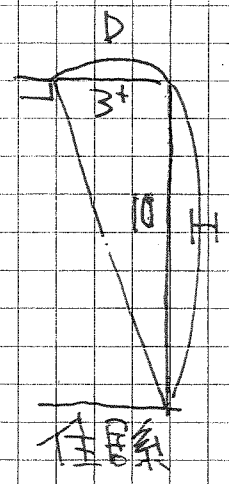


最上階OK

1つ下の階 4.8 < 6.24 ok
2m

2つ下の階 8.7 > 6.24 ×
< 9.36 3m

3つ下の階 12.7 > 6.24
→ 4mでもout → 5m

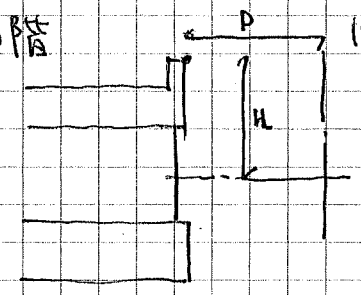


バルコニーなしだとパラペット天がスタートとなる

1つ下の階 → パラペット500として 6.2 で 2m

2つ下の階 10.2 で 4m

3つ下の階 14.2 で 5m



隣地境界線 ⇒ 道路ライン

〃 ＋住居系＋4F以上 → D/H